

おげまして

田園都市講想実施の年



町長 浅妻 茂一郎

明けましておめでとございます。昭和五十九年、一九八四年の新しい年を迎えることができる喜びと、二万一千町民が健康で明るい豊かな住みよい町にするために新たな

た。ほんとうにありがとうございます。その思い出と成果は黒崎の心として残り、灯は燃え続けていくことでしょう。町政としては、本年度は次のような事業を行います。社会教育、社会体育の振興を図るため、図書館の隣に、環境改善センター、寺地駅前北部地区公民館を建設する予定です。総合庁舎の用地買収、都市

計画事業の検討、信濃川、中の川治水対策を行います。国道八号線の交通量緩和の対策として、バイパスの推進、排水対策を行います。これらを総合的かつ土地の有効利用を図るのが、町独自の田園都市構想です。わたしは本年度を計画実施年度と考えております。そのほかにも農業、福祉、文教、など。また、選挙の年でもありません。四月の県議選に始まり

町議選、六月の参院選、十二月の衆議院総選挙と、文字通りの政治決戦、歴史的転換の年でした。わたしは「町作り知恵を出し合って明日を築こう」と賀状に書きました。ゆく年、くる年も相変わらず、国、地方とも厳しい社会、経済情勢下であります。このような困難な時代こそ一人一人が勇気と知恵を出し、夢と希望を抱いていこうではありませんか。

町理事者に進言し努力



議長 佐藤 寅一

昭和五十九年の新春を迎え、町民の皆様が謹んで新年のおよろこびを申し上げます。地方の時代と言われる八十年代は地方自治に期待されているところが極めて大きく、我々もまたこれに十分こたえ

ていかなければならないと痛感しております。本町でも国家財政の赤字や行政改革の影響により、一定の制約が加えられるなかで、昨年は町制施行十周年を迎えました。町民歌、町民憲章の制定、黒崎祭り、NHKのど自慢、各種スポーツ大会、文化講演会など多彩な行事が展開されました。

一方、住民生活の向上のために、町道や下排水路の整備、ごみ処理対策、水道や都市ガス事業の拡充強化などが精力的に進められました。文化面では待望久しかった町立図書館の建設が、篤志家のご厚意を契機としてついに建設されました。福祉面では社会福祉協議会の法人化や老人福祉施設（黒崎荘）の拡張が行われました。さらに、山田堤外地の河川公園の建設、将来人口五万人

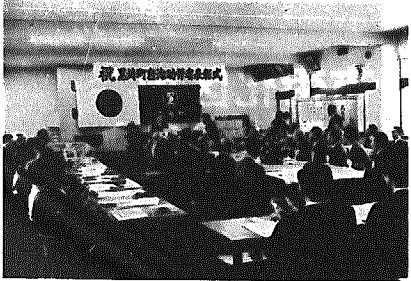
都市講想での役場庁舎建設計画など、県都新潟市の表玄関としての素地を着実に進めてきております。これはひとえに住民各位のご理解とご協力を頂いたからであり、町理事者と議会との密接な連絡があったからであります。わが町には住民からの要望が山積みしており、どれひとつとも見逃してはならないたいせつな問題ばかりです。わたしども議会人は住民一

人一人の希望を少しでも実現できるように、町理事者に進言し努力する所存であります。現在の我々の行動と選択の一つ一つは単に我々の時代にとどまらず、次の世代に生きる人たちの生活と福祉に深くかかわっていることを思い、いかなる難局にもたじろがず対処していく所存であります。最後に住民各位のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。年のあいさつといたします。

- | | |
|-----|--------|
| 助役 | 大谷 要治 |
| 収入役 | 鶴巻 茂市 |
| 教育長 | 富岡 一久 |
| 副議長 | 大谷 福蔵 |
| 議員 | 永井 武弘 |
| | 高橋 喜一 |
| | 成海 仁助 |
| | 深沢 長一 |
| | 山際 由衛 |
| | 山際 留吉 |
| | 笠原 満夫 |
| | 東条 栄松 |
| | 大矢 誠策 |
| | 大野 仁平治 |
| | 保田定次郎 |
| | 小林 助治 |
| | 藤橋十三男 |
| | 江端 年一 |
| | 磯部 博 |
| | 坂井 行康 |
| | 高橋 博男 |
| | 大坂 久六 |
| | 石附 寅市 |
| | 佐藤 和夫 |
| | 田代 敏男 |
| | 熊木 惣平 |
| | 大野 周助 |
| | 鳴海 敏雄 |

自治功労者表彰 貢献された17人

町の発展に尽くされたかたがたを表彰する「自治功労者表彰式」が、十一月十九日(土)役場議場で行われ、それぞれ分野で功労のあった個人十七名が表彰されました。



表彰式

被表彰者の横顔

(敬称略)

長年町の自治振興に尽力



佐藤 平作 (71)
大野三三四四

産業の開発、振興に尽力



吉田 九郎平 (67)
大野三三二二

保健衛生、体育の向上に功績



松井 信一 (71)
大野三七〇五一甲

○黒崎町医師会長(33) 高橋 利男 (73)

○大野小学校校医委嘱(24) 高橋 利男 (73)

○国民健康保険運営委員など

長年自治会長として尽力



大野三三七七
大坂 久六 (56)
大野三三四七

公益のため多額の金品を寄付



岡田 幸平 (66)
板井二八五

町立図書館へ図書購入費として百万円を寄付



高橋 四郎 (71)
木場二〇六四

長年自治会長として尽力



大野三二四七
大坂 久六 (56)
大野三三四七

二之町自治会長(48)55)大野町総代(55)



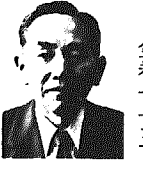
藤橋 十三男 (59)
山田四七八一

町立図書館へ図書購入費として百万円を寄付



山田上自治会長(45)48)上
山田第四自治会長(53)

交通安全に尽力



横山 仁一郎 (70)
金巻一四二一

○興野二区自治会長(48)

○新潟西交通安全協会黒崎支部長
大野 周助 (57)
金巻 一三三

理事(48)



笹川 藤之輔 (52)
大野三三四八

新潟西交通安全協会黒崎支部役員(35)42)新潟西交通安全協会理事(46)



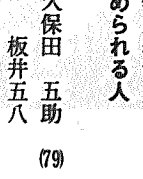
丸山 作平 (66)
大野三七〇四乙

新潟西交通安全協会黒崎支部副支部長(33)新潟西交通安全協会理事(33)



浅妻 長光 (58)
大野三六三三六

新潟西交通安全協会黒崎支部副支部長(43)新潟西交通安全協会理事(44)



久保田 五助 (79)
板井五八

二十歳のころから自治会消防団員として活躍。消防団長(30)34)



長谷川 清治 (61)
鳥原新田五四三

消防団員として長年活躍(16)50)消防団副団長、団長などを歴任



坂井 誠一 (51)
大野三三三三七

消防団員として長年活躍(24)56)消防団副団長、団長などを歴任



青山 久男 (55)
鳥原一六九九



○消防団員として長年活躍(17)58)消防団副団長、団長などを歴任

